

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島駅南口ビル新築他工事 別棟	階数	地上6階塔屋1階
建設地	広島県広島市南区松原町1番、2番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	354 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2020年12月22日
敷地面積	86,357 m ²	作成者	㈱大林組 広島支店
建築面積	3,067 m ²	確認日	2020年12月23日
延床面積	15,884 m ²	確認者	㈱大林組 広島支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.9	スコア = 2.3	スコア = 3.1
設計の計画の特段に配慮した事項 BPIm=0.59 / 交通広場上部にアトリウム設置 / BEIm=0.58 / 自動水栓に加え、節水型便器の採用 / LSG下地に加え、OAフロアの採用 / LCCO ₂ 排出率=76%	設計の計画の特段に配慮した事項 / 条例基準を満たす駐車場設置	設計の計画の特段に配慮した事項 上位3種がB以上、Eは不使用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される